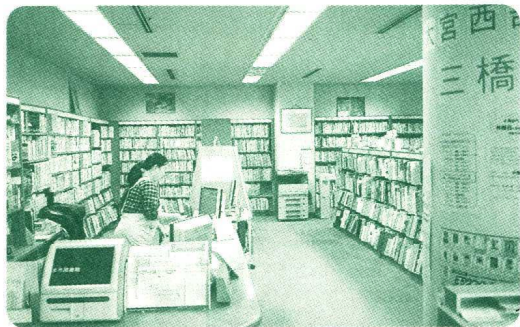


ハロー！
来・ぶ・ら・り

第18回

大宮西部図書館 三橋分館

春になると、満開の桜並木で多くの人の目を楽しませる西区の三橋総合公園から、新大宮バイパス（国道17号）に沿って北へ歩くと、大宮西警察署がみえてきます。今回ご紹介する大宮西部図書館三橋分館は、その西隣にあるさいたま市西部文化センターの2階にあります。平成12年に開館した図書館で、地域の方々に親しまれています。階段を昇って2階にあがると、正面が図書館です。おかつて左側のエリアには、雑誌や児童書、一般書が並んでいます。そして右側のエリアには絵本や紙芝居、新聞、CDが並んでいます。さいたま市図書館の中では一番面積が小さい図書館ですが、1階からの吹き抜けに面した開放的な雰囲気の中で、ゆったりと読書が楽しめる空間となっています。所蔵点数は3万4千点と少ないながらも、要望に即した本を置いています。また、さいたま市のほかの図書館から取り寄せることでご要望にお応えしています。



カウンターまわりは実用書など人気の本が並んでいます



さいたま市西部文化センター。図書館はこの2階

毎週木曜日にはボランティアの方々による、読み聞かせや手あそび、わらべうたなどのおはなし会を行い、好評をいただいています。

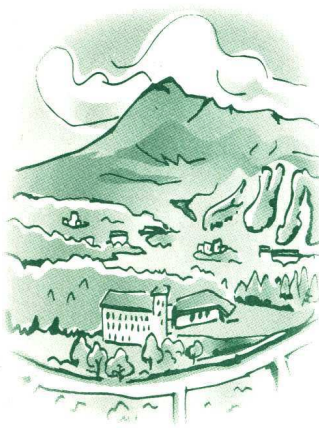
三橋総合公園や西部文化センターにお越しの際には、ぜひ、三橋分館にもお立ち寄りください。

第13回現代短歌新人賞 受賞作が決まりました

さいたま市が主催する「現代短歌新人賞」は今回で13回目を数えます。平成24年12月2日（日）の選考会で選ばれたのは、福島県在住の高木佳子さんの歌集『青雨記』（いりの舎 2012年）です。

「高木佳子歌集『青雨記』は第Ⅲ部の父の死と葬儀にかかる痛切な悼歌、第Ⅴ部の「見よ」の東日本大震災による無残な傷痕の歌に加え、新鮮な角度から自然や身辺を写実的にうたった作品を含む、すぐれた業績を評価した。」（選考委員会講評、さいたま市ホームページより）

作品や選考過程についての記事が、雑誌「ミセス」（文化出版局）2013年3月号に掲載されています。図書館でも所蔵していますので、ぜひご覧ください。



編集：さいたま来ぶらり通信編集委員会 発行：さいたま市図書館

<http://www.lib.city.saitama.jp/> 携帯電話用 <http://www.lib.city.saitama.jp/m/> （下のQRコードを読み込んでください）

北浦和図書館 832-2321	桜木図書館 649-5871	春野図書館 687-8301	与野南図書館 855-3735
南浦和図書館 862-8568	大宮西部図書館 664-4946	大宮東図書館 688-1434	岩槻図書館 757-2523
東浦和図書館 875-9977	三橋分館 625-4319	大七里図書館 682-3248	岩槻駅東口図書館 758-3200
桜図書館 858-9090	北図書館 669-6111	片柳図書館 682-1222	岩槻東部図書館 756-6665
大久保東分館 853-7100	宮原図書館 662-5401	与野図書館 853-7816	武蔵浦和図書館 844-7210
大宮図書館 643-3701	馬宮図書館 625-8831	西分館 854-8636	

事務局：中央図書館 浦和区東高砂町11-1 TEL 048-871-2100

★★編集後記★★ 武蔵浦和図書館が開館しました。駅に近いということもあって、連日多くの市民の方にご利用いただいています。武蔵浦和駅にお越しの際には、どうぞお立ち寄りください。

次回発行：2013年7月30日（年3回発行）

